

資料

清水町高齢者ドライバーの交通事故防止の取り組みについて

平成 29 年 8 月 24 日

清水町議会 厚生文教常任委員会提出資料

清水町高齢者ドライバーの交通事故防止の取り組み

1 道内における65歳以上の高齢者ドライバー数と交通事故の現状

道警によると、平成27年度の道内における65歳以上の運転免許保有者は約72万4千人、75歳以上も約20万7千人に上るといわれ、平成27年に道内で発生した死亡事故168件のうち、65歳以上のドライバーが主原因をつくったのは46件と約27%を占めています。

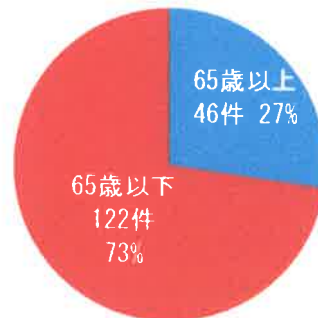
これは、免許保有者1人当たりが死亡事故を起こす確率として、実に65歳未満の1.4倍となっています。

さらに、平成26年4月から12月の間に人身・物損事故を1年間に3回以上起こした65歳以上の高齢者数は661人にも上っています。特にアクセルとブレーキの踏み間違いなど、認知機能の衰えに気付いていないケースがほとんどといわれています。

このように、死亡事故など重大事故に繋がりにかねない高齢者ドライバーの交通事故を防止する取り組みが求められています。

死亡事故原因に占める高齢者ドライバー割合
(平成27年度：北海道)

死亡事故	件数	割合%
65歳以上ドライバー	46	27
65歳以下ドライバー	122	73
計	168	100

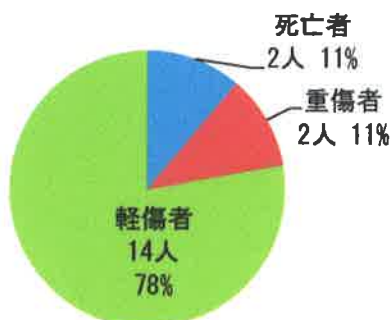


2 清水町における交通事故の現状と運転免許自主返納者数

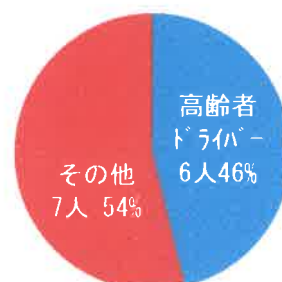
清水町における平成27年4月から12月までの人身事故発生件数は13件で、死亡者数2名、重傷者数2名、軽傷者数14名となっており、そのうち高齢者ドライバーが第一当事者となっているのは6件(46%)で、死亡者数2名、負傷者数9名となっており、死亡者2名とも高齢者ドライバーとなっています。また、平成28年1月から12月までの人身事故発生件数は15件で、重傷者数4名、軽傷者数15名となっており、そのうち高齢者ドライバーが第一当事者となっているのは4件(27%)で、負傷者数4名となっています。

また、60歳以上の運転免許自主返納者は平成26年8名、平成27年12名となっており、まだまだ少ないのが現状です。

平成27年交通事故発生状況(清水町)



交通事故に占める高齢者ドライバー割合



3 道内での運転免許自主返納の取り組み

これらの現状に鑑み、高齢者ドライバーの重大事故を防止するためにも、運転免許の自主返納の取り組みは重要です。

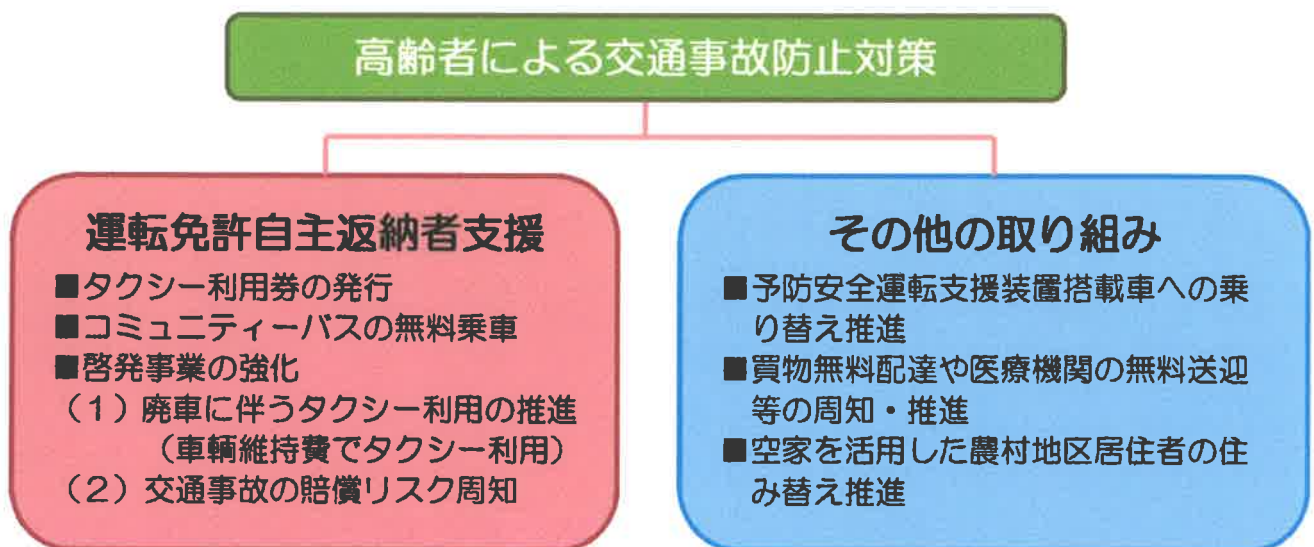
免許の自主返納が進まない理由としては、「生活の足が無くなる」というのが主で、それを補う補助策が鍵とされています。道内の自治体、公共交通機関でもその重要性から特に生活の足の確保としての支援策の充実が目立っています。

【道内自治体・公共交通機関の取り組み】

	対象年齢	施策	内容
北竜町	65歳以上	タクシー利用券	(1) 5万円×3年間 (2) 200円で相乗タクシー（事前予約）
浜頓別町	65歳以上	タクシー利用券	初乗610円48回×3年分
新篠津村	65歳以上	公共交通利用券	6万円分（タクシー・路線バス等）
美幌町	65歳以上	タクシー利用券・バス回数券	2万円分
雨竜町	65歳以上	商品券（町内利用）	3万円分
北広島市	65歳以上	路線バス利用券	2万円分
音更町	60歳以上	路線バス利用券	路線バス運賃半額
釧路市	—	料金割引・宅配・送迎等	釧路市商店街振興組合連合会
十勝バス	60歳以上	路線バス利用券	路線バス運賃半額

4 清水町の運転免許自主返納の取り組み

町では、平成27年度策定の「交通安全計画（第10次）」の中で高齢者の免許自主返納の推進を明記しており、自主返納を支援する取り組みとして、第1に「生活の足の確保」としての支援策の充実、第2として「啓発事業の強化」を重点に60歳以上の運転免許自主返納者に対し平成29年度より下記の支援策を実施しています。



1 タクシー利用券の発行（65歳以上から対象）

生活の足の確保は最重点課題と考え、タクシー利用券として12,000円（1年間）を発行します。期間の制限はありません。

2 コミュニティバスの無料乗車（60歳以上から対象）

コミュニティバスを2年間無料で乗車できます。

3 啓発事業の強化

運転免許自主返納を推進する取り組みとして啓発事業の強化を図ります。具体的には、

ア 自動車を廃車することによる経費削減と代替としてのタクシー利用の推進

イ 交通事故を起こした場合の賠償などリスクの周知

これらを重点に、老人クラブ、地域の会合等での出前講座を推進します。

4 その他の取り組み

ア 予防安全運転装置搭載車等への乗り替え推進

最新の予防安全運転装置搭載車による追突事故削減率は約80%、対歩行者事故では約50%に達するとされ、運転免許が自主返納されるまでの間は、この予防安全運転装置搭載車と国土交通省「クルマ選びの指針としての自動車アセスメント」活用による安全性能総合評価の高い自動車への乗り替えによる重大死傷事故の未然防止を推進するための啓発も併せて行います。具体的には講演会、実際の車輛を用いた実演等を実施します。

イ 買物無料配達や医療機関の無料送迎等の周知・推進

スーパーやコンビニ等、買い物時の無料配達や医療機関の無料送迎等などの既存メニューの周知及び推進に向けた取り組みを強化していきます。

ウ 空家を活用した農村地区居住者の住み替えの推進

農村部に住んでいる高齢者が、より生活利便性が高く福祉施設も多い中心市街地の空家に住み替えをすることにより、高齢者の運転免許証返納にも効果が期待され、交通事故の軽減にも繋がるもので、今後は総合的な空家対策も含めて推進していきます。

高齢者の運転免許証返納対策として、これらの様々な取り組みを推進することにより住民意識の向上を図りながら交通事故の防止及び削減に向け、今後も取り組んでいきます。

高齢者ドライバーの交通事故 防止を推進します！



重大事故を起こした場合、孫子の代まで損害賠償！？

高齢者ドライバーの交通事故が増えています。
交通事故は人ごとではありません。万が一、自分が重大な交通事故を起こした場合、いくらの損害賠償を払わなければならないのでしょうか？

●最高額 5億843万円（死亡：41歳眼科医：H23.11.1 横浜地裁）

いくら、自動車保険に加入していても、すべてが保険対象になる訳ではありません。運転者側に過失があった場合は過失分は相殺され、場合によっては莫大な損害賠償がのしかかってくる可能性があります。あなたの事故の代償を、孫子の代まで負わせてしまうこともあるわけで、事故を起こした場合は、あなただけでは済まないのです！

そこで、町では高齢者ドライバーの方の運転免許自主返納への支援を実施しています。

（1）運転免許証自主返納者の支援

運転免許証の自主返納された方を支援し、高齢者の交通事故を未然に防止します。
高齢などの理由により、もう運転しないので運転免許証を返したいという方が、申請により返納する制度です。（※有効期限が切れ失効した場合は対象になりません。）

■タクシー乗車券の発行（年額で12,000円：月額1,000円）

65歳以上で平成29年4月1日以降に運転免許証を返納された方

- (1) 申請に必要なもの・運転免許証を返納したことがわかるもの
※年度の途中で申請された方は申請月から月割りでの交付となります。
 - (2) 利用できるタクシー・昭和タクシー
 - (3) 有効期限・平成30年3月31日（毎年発行されます）
- 問い合わせ先・保健福祉課在宅支援係（69-2233）

■清水町コミュニティバスの無料乗車

60歳以上の免許証返納者（申請の必要はありません）

- (1) 乗車の都度、「運転経歴証明書」の提示が必要です。
 - (2) 有効期限・「運転経歴証明書」の交付日から2年間
- 問い合わせ先・企画課統計企画係（62-2114）

(2) 車の維持費分で毎日タクシー1,000円分乗れる！

あなたは、自分が乗っている車の維持費が年間最低いくらか計算したことがありますか？（※詳しくは「自動車ランニングコスト」…ネットで検索）

(1) 軽自動車（ダイハツミライース）の場合

- ・新車 76.6 万円で購入（8年で乗り替え）
- ・年間走行距離 1 万キロの場合

●年間維持費 30.2 万円（税金・車検・保険代・燃料代・タイヤ等消耗品含む）

(2) 普通乗用車（アクア 1.5S）の場合

- ・新車 188.7 万円で購入（8年で乗り替え）
- ・年間走行距離 1 万キロの場合

●年間維持費 40.9 万円（税金・車検・保険代・燃料代・タイヤ等消耗品含む）

もし車を廃車にした分でタクシーに乗った場合、軽自動車では年間 30 万円分乗れる計算となり、1日に置き換えると…

$$30.2 \text{ 万円} \div 365 \text{ 日} = 820 \text{ 円/日}$$

普通小型車の場合は、

$$40.9 \text{ 万円} \div 365 \text{ 日} = 1,120 \text{ 円/日}$$

となり、毎日約 1,000 円分タクシーに乗れる計算です。



そうです。少々不便にはなりますが、万が一の交通事故のことを考え、また1日 1,000 円分タクシーに乗れることを考えれば…でも車はどうしても手放せない？ では…

(3) それでも車が手放せない

…なら、「ぶつからない車」に乗り替えましょう！

でも、どうしても色々な事情で車が手放せない。運転をやめるのは死活問題だ…なんて人もいるかも知れません。

ならば、思い切って、今流行の「ぶつからない車」に乗り替えましょう！

スバルでは、なんと「アイサイト」(運転支援システム)搭載車の対自動車事故が約 80%、対歩行者事故が約 50%削減されたといえます。(ボルボも同様のデータを出しています)

また、平成 28 年度の交通事故死亡者数が 3 千人台と、大幅に減少したのは、被害軽減ブレーキなど交通事故を未然に防ぐ安全装備の充実による効果であるといわれています。

交通事故にあっては遅いのです。乗るなら「ぶつからない車」に乗り替えましょう！（各メーカーごとに呼び方は違います。仕様も違うので、十分調べてから購入して下さい。）

【参考】「自動車アセスメント 2016」…ネットで検索

清水町・清水町生活安全推進協議会